

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	男 50代	前立腺癌 (なし)	80mg 150日間	<b>劇症肝炎</b> 前治療歴：精巣摘除 投与開始日 前立腺癌に本剤80mgの内服開始。 投与8日目 AST (GOT) 25IU/L, ALT (GPT) 16IU/L。 投与120日目 肝障害が発現。AST (GOT) 293IU/L, ALT (GPT) 409IU/L。 無力症, 食欲不振。 投与約4ヵ月目 倦怠感が徐々に増悪。 投与151日目 本剤投与中止。 (投与中止日) 総ビリルビン8.9mg/dL, AST (GOT) 2020IU/L, ALT (GPT) 2096IU/L, プロトロンビン時間 38.1%, 血中アンモニア97 μg/dL。肝性脳症なし。CT上肝萎縮なし。 薬剤性肝炎の疑いでプレドニゾン60mg投与開始。グリチルリチン・グリシン・システイン 100mL投与。安静で経過観察を行う。 中止1日後 AST (GOT) 1388IU/L, ALT (GPT) 1745IU/L, 総ビリルビン9.8mg/dL, プロトロンビン時間 33.9%, 血中アンモニア89 μg/dL。肝性脳症なし。 中止3日後 プロトロンビン時間34.6%, AST (GOT) 584IU/L, ALT (GPT) 1186IU/Lと改善傾向。 中止8日後 肝機能改善が横ばい。 中止10日後 肝機能増悪傾向。これ以上悪化するなら血漿交換必要と判断。 中止11日後 プロトロンビン時間26.3%。CT上, 肝実質のびまん性不均一な低濃度領域あり。新鮮凍結人 血漿6単位輸血。 中止12日後 第1回目血漿交換施行。 中止14日後 第2回目血漿交換施行。意識レベル低下, 羽ばたき振戦出現。 中止15日後 プロトロンビン時間19.2%, ほぼ昏睡状態。 中止16日後 家族の希望で治療断念。 中止20日後 死亡確認。(剖検所見: なし, 死因: 劇症肝炎)	

#### 臨床検査値

	投与8日目	投与120日目	投与151日目 (投与中止日)	中止1日後	中止3日後	中止10日後	中止11日後	中止15日後
総蛋白 (g/dL)					6.0	5.5	5.5	5.9
アルブミン (g/dL)					3.4	3.0	3.1	3.6
総ビリルビン (mg/dL)	1.2	0.8	8.9	9.8	13.2	17.5	18.8	19.2
直接ビリルビン (mg/dL)	0.3			6.5	8.9	12.3	12.4	10.3
AST (GOT) (IU/L)	25	293	2020	1388	584	488	493	437
ALT (GPT) (IU/L)	16	409	2096	1745	1186	817	829	431
LDH (IU/L)	147	342	688	364	291	368	356	401
AI-P (IU/L)	208	202	537	483	503	527	489	280
-GTP (IU/L)	16			313	293	210	196	45
コリンエステラーゼ (IU/L)					203	173	169	276
BUN (mg/dL)	12	15	13	12	12	13	12	11
血清クレアチニン (mg/dL)	0.66	0.66	0.63	0.63	0.65	0.65	0.60	0.60
CRP (mg/dL)					0.28	0.27	0.33	0.55
白血球数 (/mm <sup>3</sup> )	8800	5500	6300	5200	11400	10100	11000	5600
血小板数 (×10 <sup>4</sup> /mm <sup>3</sup> )	20.3	18.4	15.4	15.1	16.3	11.8	12.2	7.1
プロトロンビン時間 (%)			38.1	33.9	34.6	31.0	26.3	19.2
PT-INR (INR)				2.16	2.11	2.37	2.81	3.39
APTT (秒)					39.7	52.7	52.8	41.6
フィブリーノーゲン (mg/dL)					172	111	126	133
血中アンモニア (μg/dL)			97	89	66			121
HBs抗原			(-)0.2					
IgM型HA抗体			< 0.1					

併用薬: なし